



佐渡山明 議員

南恩納区と恩納区の豪雨災害について

質 南恩納区と恩納区では11月10日の午前10時頃から大雨が降り住宅地の冠水被害がありました。水害が発生した時間帯の気象条件を答え教えてください。

答 総務課長(宮平寛)

9時58分に土砂災害警戒情報、警戒レベル4相当の情報が発令されました。このタイミングで村のほうからアラート、緊急放送のほうを流しています。10時24分の大雨警報に続き、浸水害の情報が発令されて、約1時間程度大雨が降りました。

質 1時間当たりの降雨量、雨量計が恩納村にはありませんので、名護市と読谷村を調べました。名護市で午前10時に56ミリ、読谷村は終日0ミリでした。また、海は引き潮の状態

であり、午前8時前に干潮を迎えた小潮でありました。以上のことを確認した上で、被害件数を教えてください。

答 総務課長(宮平寛)

現在把握しているのは床下浸水2件、恩納区で1件、南恩納区で1件。床上浸水が2件、こちらは南恩納区です。

質 私なりの調査では南恩納区だけでも床上5件、床下7件ありました。実数把握は大切なことです。今後調査を広げていくのか、答弁を求めます。

答 総務課長(宮平寛)

役場としても状況把握については重要なことでありますので、行政区長常会の中で情報の共有と伝達、そういったところの方向性はしっかり確立する必要があると実感しています。

質 水害に対し、勢高排水路の周辺アパートに居住されている方は「繰り返し起こる水害が怖くて、私は引っ越しを考えている」と話されておりました。村長はいかがでしょうか。

答 村長(長浜善司)

度々浸水が起こる場所です。被災に遭われた方にはお見舞いを申し上げます。総務課、担当課を含めて今後どういう方法でこの改修ができるか、

またこのようなことが起こらないように各機関と一緒に整備を進めたいと考えています。

質 今回の水害を含め勢高排水路完成後、同様の水害は3件、類似する水害は1件発生しています。この4年間で今回の被害が一番大きかったのはどこに原因があったのか、体験学習センターから万座毛に伸びる勢高2号線に原因があるのでないかと、私は考えています。この2号線を下っていきますと、途中で勢高排水路に雨水が投入されています。これは非常に疑問です。県の環境影響評価書に対する知事の意見書の中で、処理水も含めた雨水が水路からあふれる可能性について検討する必要があるという知事意見はこの工事を行う以前のことです。答弁を求めます。

高排水路の実施設設計を補正予算で計上し、令和7年度から工事を実施していき改善に努めていきます。

答 建設課長(當山国博)

勢高排水路や下勢高排水路周辺は海拔が低い低地帯と、雨水や排水が集中すること、潮位の影響を強く受けることが要因で氾濫が起きやすい環境にあります。今回の水路の氾濫については、警報級の集中的な豪雨、数年前には台風による豪雨と高潮、満潮が重なり氾濫が発生しています。また排水路整備後も氾濫があり、不満があることも承知しています。村は早急な防止対策として、排水断面不足で今回氾濫が大きかった下勢



▲氾濫時の状況



▲日常の様子



大城節子 議員

ヤングケアラーについて

質 ヤングケアラーの定義を伺う。

答 福祉課長(石川司)

18歳未満の子供で障害や病気のいる親や祖父母など、ケアを必要とする家族がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護のサポートなどを行っている子供のことでありと認識しています。

質 ヤングケアラーの実態等を把握しているか伺う。

答 福祉課長(石川司)

福祉課所管においてのヤングケアラーの実態は現在のところ把握していませんが、教育委員会と情報を共有し、実態を把握する必要があると考えています。

質 アンケート調査を行ったことはありますか。もしくは調査を行う予定はあるのか伺う。

答 学校教育課長(仲村泰弘)

村内の小中学校では児童生徒がどのような状態で学校生活を送っているか、困りごとがないか、毎月のアンケートにより把握をしています。昨年度から、アンケート項目に貧困やヤングケアラーに関する内容を盛り込み、実施しています。令和6年10月末現在、各学校からのヤングケアラーの認知の報告はありません。

答 福祉課長(石川司)

ヤングケアラーは家庭内のデリケートな問題であることから、本人や家族に自覚がないといった理由もあり、支援が必要であっても表面化しにくい構造となっています。今後は、教育委員会、学校、民生委員、児童委員等、関係機関と連携を行い、早期把握、相談支援等につなげ、環境改善に努めていきたいと思っております。

文化財の整備について

質 恩納番所跡の見た目を綺麗に整備してほしいと思うが、当局の見解を伺う。

答 企画課長(喜久山隆)

番所跡地の整備については何度も質問がありました。今、駐車場になっているのが現状です。駐車場の課題が解決されたとき教育委員会と一緒に検討していきたいと考えています。

質 ナビ一屋敷跡の整備について当局の見解を伺う。

答 企画課長(喜久山隆)

文化的観光資源として貴重な場所であるということには理解しています。当該地が集落内にあるということから、整備するに当たっては、観光目的地とすることへの周辺住民の理解が必要だと考えています。

質 集落内であるので住民の理解が必要と言っていました。地主と相談、話し合いをした事はありませんか。

答 企画課長(喜久山隆)

直接お話ししたことはありませんが、以前のお話では土地を字が取得して、整備するということの答弁であったと思います。字から土地の取得についても村のほうで検討していただきましたということですので回答がありました。

質 ナビ一の資料館を造るということは、子供たちのためにもやるべきことだと思っております。前に区と話をしたけどできなかった。その間は話もしないで歩み寄りがないということ。それをもう一度考えたいというお気持ちはありますか。

答 企画課長(喜久山隆)

土地の件に関しては区長さんからお話を聞いていただけですので再度、我々のほうからでもできるかどうかというのを検討していきたいですが、集落の中に入っている人が入っていくところ、十分な調整が必要だと思っております。そこを一番重点に、今後検討していきたいと考えています。

質 仲泊一里塚の木は高木になり木々や雑草が生い茂って、ハブの目撃情報もあります。木々の剪定ができませんか伺う。

答 社会教育課長(山田俊幸)

仲泊一里塚は現在、民有地となっております。文化財指定でも地権者より委任されていない場合は、土地の地権者の管理となっているため、勝手に木々の伐採等はできない状況にあります。しかし国指定史跡でもありますので、村としては公有地化と環境整備へ向け、地権者と調整していきたいと思っております。